

被爆76周年原水禁世界大会長崎大会 ひろば

「被爆二世運動の意義と展望」

今年は、原爆投下、日本の敗戦から、76周年を迎えます。原爆投下によって生み出された被爆二世は、原爆放射線の遺伝的影響を否定できない核の被害者として生きてきました。そして、全国被爆二世団体連絡協議会の活動は、国内では「原爆被爆二世の援護を求める集団訴訟」をたたかい、国連人権理事会で自らの人権保障と核廃絶を訴えたことを契機に、被爆者が高齢化していく中、国際社会では、自らの体験を踏まえ、将来世代を含む核被害者の人権確立と核廃絶を訴えるに至っています。被爆76周年を迎える今年、被爆二世運動の意義について考え、今後の展望を切り開く一歩にしたいと考えています。

日時：2021年8月8日（日）18時～19時30分

場所：長崎県勤労福祉会館4階第2・3中会議室

内容：

報告① 「被爆二世集団訴訟の意義と展望、結審に向けて」

在間秀和弁護士（被爆二世集団訴訟・弁護団団長）

ZOOMにて参加

報告② 「将来世代を含む核被害者の人権確立と核廃絶をめざして」

崎山 昇さん（全国被爆二世団体連絡協議会・会長）

* 会場では、新型コロナ感染防止対策として、マスクの着用や手指消毒などにご協力ください。

主催：全国被爆二世団体連絡協議会

長崎県被爆二世の会

連絡先：長崎県被爆二世の会

事務局長 崎山昇

090-2519-2066